

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	49	事業名	障がい者自立支援事業	担当部課	福祉部福祉課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 ながふく障がい者プラン			3-1-4 身体障がい者福祉費
	事業開始の背景、経緯等	障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス等の提供を行う。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び地域生活支援事業サービス等の給付を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい児、障がい者(障害福祉サービス及び地域生活支援事業の受給者数)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができる。

項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	
			事業費(A)	千円	予算	412,184	480,896	723,489
			決算	505,343	550,835	616,244	697,838	
人件費(B)	千円	決算	12,221	23,645	22,072	32,803		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	517,564	574,480	638,316	730,641		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		421	423	428	464	470	
対象あたりコスト(C/D)	千円		1,229	1,358	1,491	1,575		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
			受給者1人・年あたりの移動支援事業の利用時間	時間	目標	—	—
			実績	27	27	32	22.5
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
受給者1人あたりの移動支援事業の利用時間は、移動支援事業の利用のしやすさ(外出のしやすさ)の指標となるため。			障がい者基本計画(移動支援事業の年間利用見込時間)により目標値を設定。				
(前年までと変更した場合はその理由)							
移動手段を確保し、外出の機会を増やすことは、障がい者の社会参加につながるため。							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 計画にある利用見込み時間には達していないが、徐々に利用は増えている。ただし、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用時間が減少した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 市独自の移動の支援者の養成のため、今まで障がいに触れたことがなかった人が研修に参加しており、障がいの制度や多種多様なサービス種別を学ぶ機会となっている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 参加者の増加を目指し、本事業についてさらなる周知が必要である。

事業を構成する事務事業①	地域生活支援事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン】相談件数【単年】	件	見込	4,417	4,417	4,417	4,417	4,417
			実績	3,999				
(3)	【アクションプラン】移動支援事業従事者養成研修修了者数【累計】	人	見込	15	19	24	28	30
			実績	11				
(4)	【アクションプラン】手話奉仕員研修参加者【単年】	人	見込	7	7	7	7	8
			実績	4				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 移動支援事業従事者養成研修は、1回実施。 手話奉仕員研修は、1回(入門編、基礎編)実施。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	障がい者総合支援通所施設管理事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
(3)	障害福祉サービス事業所つばさの施設利用者数	人	見込	26	47	50	50	50
			実績	27				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和2年4月1日以降の指定管理業者の公募、選定等を実施、業者を決定した(指定期間3年間)。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	障がい者総合支援通所施設管理事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も、障がい者が自立に向けて必要なサービスを適切に受けることができるよう、随時改善、見直し等を行っていく。 令和2年度から、障がい者総合支援通所施設の面積拡大に伴い、サービスの見直しを行うとともに、医療的ケアが必要とする障がい者の受け入れ体制を整備する。
	中長期の目標	(いづれまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和5年度までに移動支援員30人程度まで増やし、移動支援ニーズ増加への対応を目指す。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・引き続き障がい者の自立支援・社会参加を促進しつつ、サービス給付費の伸びが落ち着くよう、地域で支える動きの支援・居場所づくりを進めてください。
内部意見への回答		